

経営比較分析表（令和5年度決算）

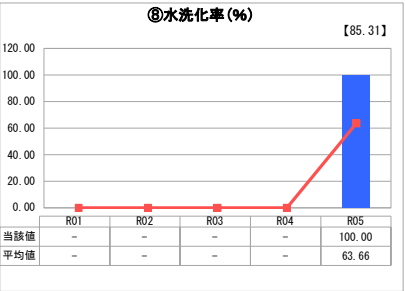
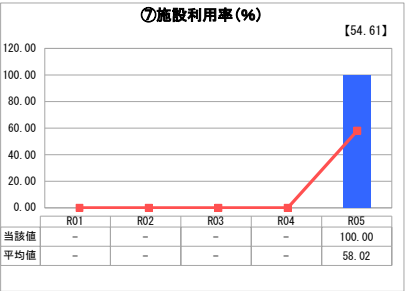
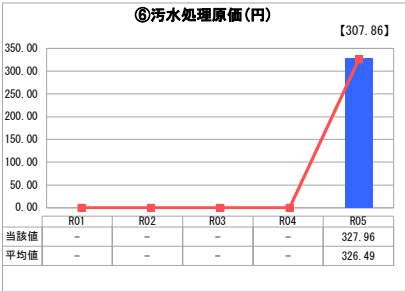
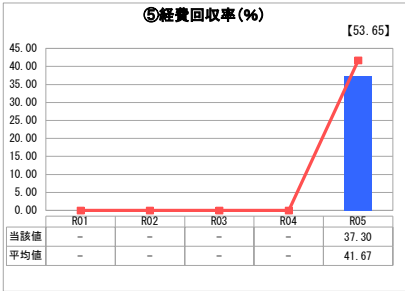
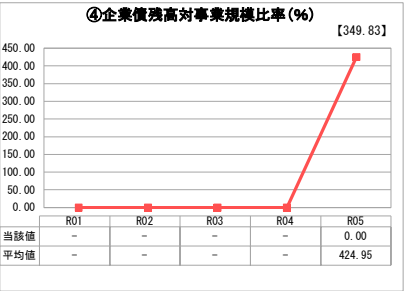
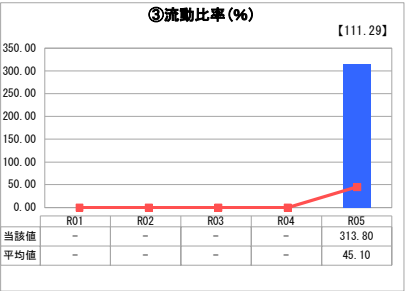
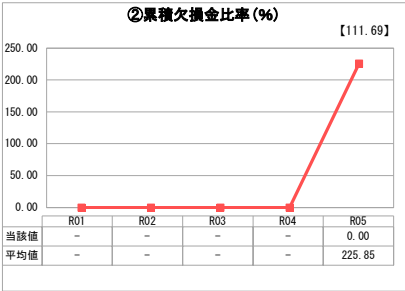
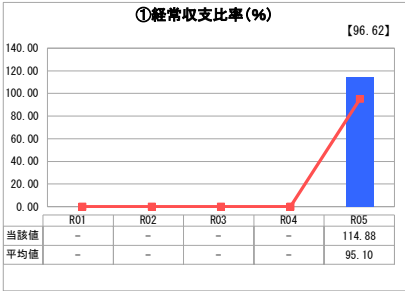
埼玉県 滑川町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	特定地域生活排水処理	K3	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家産料金(円)
-	67.48	2.98	100.00	3,300

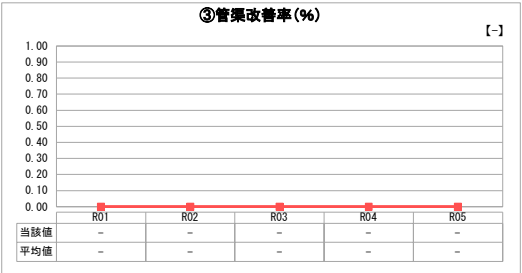
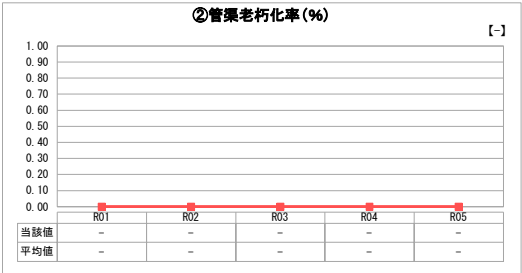
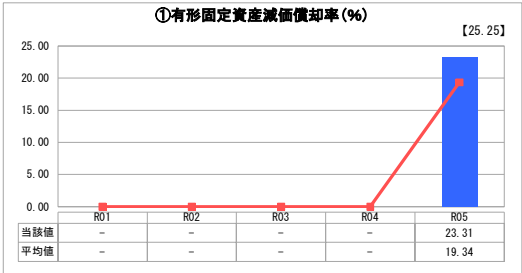
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
19,745	29.68	665.26
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
587	25.83	22.73

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率
類似団体平均よりも上回っていますが、一般会計繰入金に頼った経営となっています。経費削減など経営改善に向けての取り組みが必要です。

③流動比率
流動比率は100%を超えていますが、企業債の償還は今後も続くため、現金の確保に向けた取り組みが必要です。

⑤経費回収率
経費回収率は類似団体平均値を下回っており、低い値となっています。経費回収率上昇のため、維持管理経費の削減など安定した経営への取り組みが必要です。

⑥汚水処理原価
類似団体平均値とほぼ同様の値ですが、効率的な汚水処理が必要となります。

⑦⑧施設利用率、水洗化率
施設利用率、水洗化率については、設置申請に基づき整備しているため、現状100%となっています。

2. 老朽化の状況について

浄化槽の整備事業のため、管渠老朽化、改善率は該当しませんが、公共浄化槽整備事業が始まって10年以上使用している浄化槽もあるため、今後修繕は増加する見込みです。

全体総括

当町では公共下水道整備区域、農業集落排水整備区域以外の区域を公共浄化槽整備区域としており、整備を進めているところですが、整備対象を単独浄化槽や汲み取りからの転換のみとしているため年々整備基数は減少しています。整備基数増加に向けた啓発活動を行い、使用料収入を確保する必要があります。ただ整備基数が増加しても一般会計繰入金に頼った経営は続くため、使用料の適正化、経費の効率化を図り、安定した経営を目指す必要があります。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のための類似団体平均値及び全国平均を算出しています。